

業務ミス防止・問題解決のための 「なぜなぜ分析」と再発防止セミナー

参加対象

- 若手・中堅社員の方
- 非製造部門(事務、営業、企画、開発、研究など)で「なぜなぜ分析」を活用したい方
- 業務改善、問題再発防止を推進したい方

ねらい

製造部門の代表的な問題解決手法である「なぜなぜ分析」「4M」「PDCAサイクル」ですが、非製造部門(事務、営業、企画、開発、研究など)で、実務に沿って活用するためには言葉や思考の変換が必要です。

本セミナーでは、非製造部門で起きる業務ミス、問題・課題の真因究明と再発防止策にも有効な「なぜなぜ分析」「4M」「PDCAサイクル」等の手法・思考を演習によって習得し、業務の能率、生産性、品質の向上を目指します。

開催日時

2026年9月3日(木)

2027年3月9日(火)

[時間] 10:00 ~ 16:30

開催形式 Zoomによる配信

講師 (敬称略)

石川 秀人

コンサルソーシング株式会社
フェロー・コンサルタント

参加料 (税込)

法人会員…60,500円/1名

会員外…71,500円/1名

プログラム

10:00~16:30<昼食時間 12:00~13:00>

1. なぜ同じ問題(ミス・事故)が繰り返されるのか?

- ・形式的対応・モグラたたき・情報不足・深堀不足・端(はな)から改善策が決まっている
- ・チームビルディング不足・後工程はお客様意識の欠如

2. 要因を究明する「なぜなぜ分析」の進め方

- ・重要要因と絞り込む特性要因図のつくり方
- ・なぜ5回目まで到達しないのか
- ・「なぜなぜ分析」で問題の根っこをつかむ
- ・〇〇のために△△となる=直接要因を洗い出す
- ・モレ・ダブリをなくす MECE
- ・事象間の抽象水準を合わずディメンジョンとは
- ・問題分解型ロジックツリーの Why ツリーのつくり方
- ・4M視点による要因解析
- ・真因をしっかりとつかみ、対策立案へ

3. Man (人) に関する要因に有効な対策は?

- ・Manに関する要因例
- ・対策案としての仕事の指示や報連相の進め方

4. Method (手順・方法・やり方) に関する有効な対策は?

- ・Methodに関する要因例
- ・対策案としての標準化の進め方

5. Material (モノ・資材・資料) に関する有効な対策は?

- ・Materialに関する要因例
- ・対策案としてのミスをなくし生産性を高める環境整備の進め方

6. Machine (設備・サーバー・データ) に関する有効な対策は?

- ・Machineに関する要因例
- ・対策案としてのカネをかけずに改善の進め方

7. PDCAサイクルを回し、仮説検証を繰り返す

- ・対策案選定のポイント
- ・総合的・統合的検討

※プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

